

【JJ-Link説明会】

TOCOM電力先物市場の概要と市場動向

Exchange & beyond

株式会社東京商品取引所

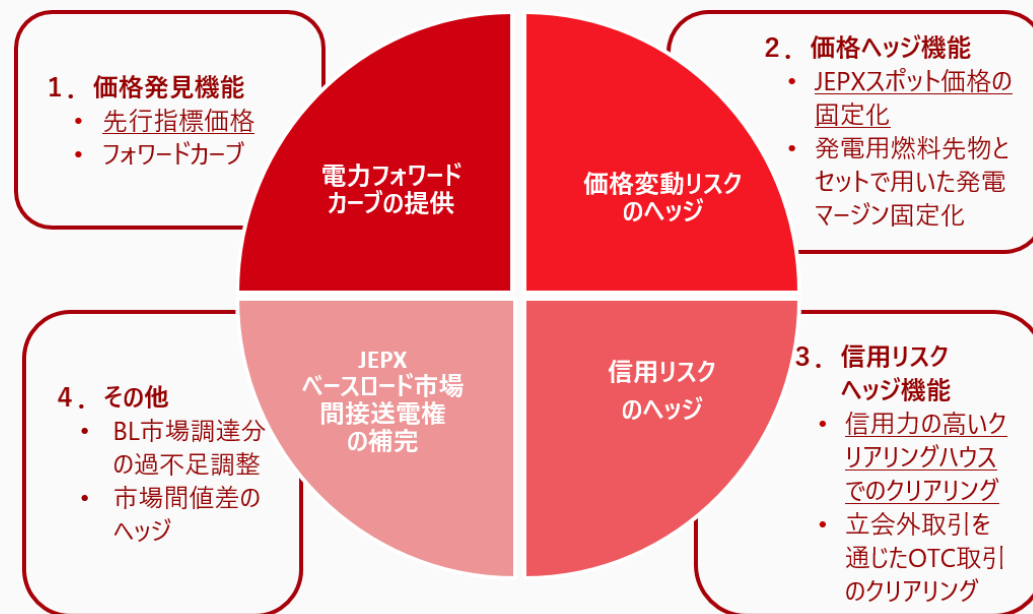
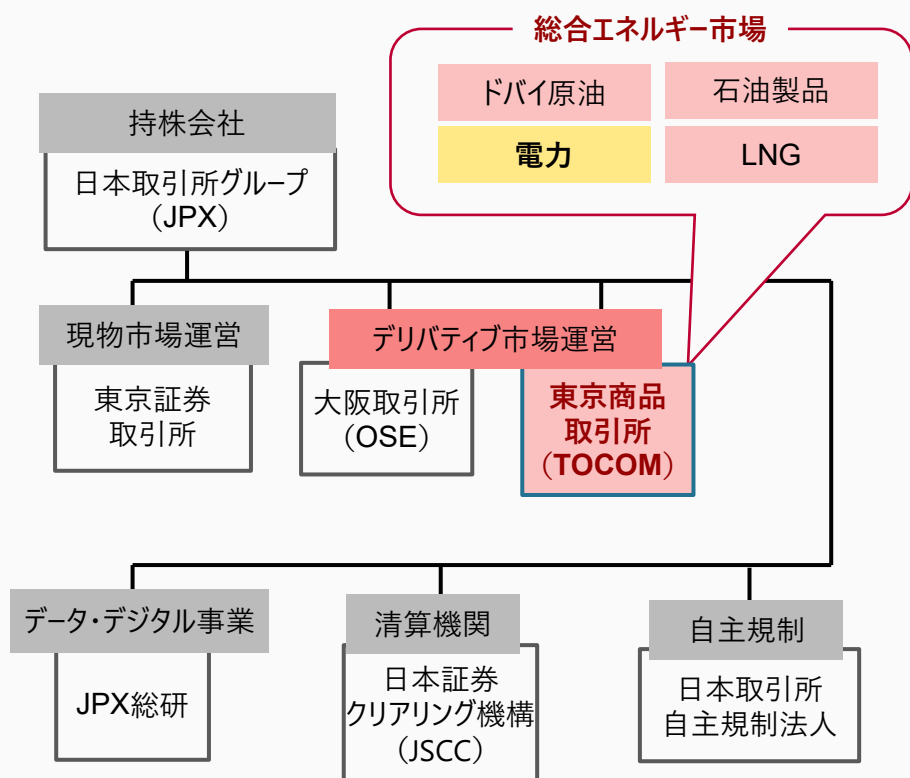
2026/7/14



TOCOM電力先物市場の概要・取引制度

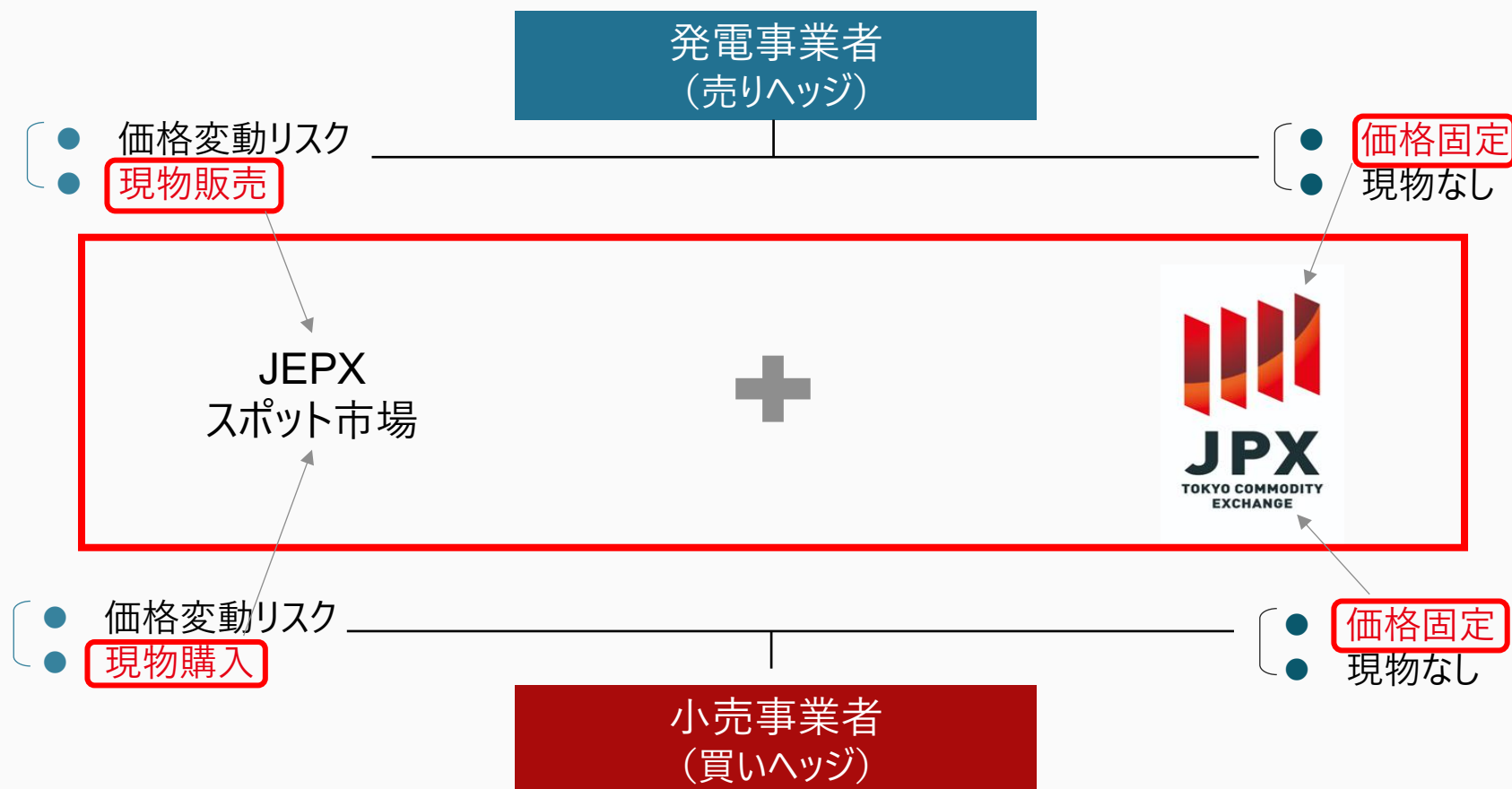
東京商品取引所（TOCOM）の位置づけと機能

- 東京商品取引所（TOCOM）は2019年10月に日本取引所グループ（JPX）と経営統合し、エネルギー関連のデリバティブを取り扱う総合エネルギー市場として運営。
- TOCOM電力先物市場は、24か月先までの先行指標価格の提供等の「価格発見機能」、JEPXスポット価格等の変動リスクをヘッジする「価格ヘッジ機能」、クリアリングハウスが取引の相手方となることによる「信用リスクヘッジ機能」等を提供。

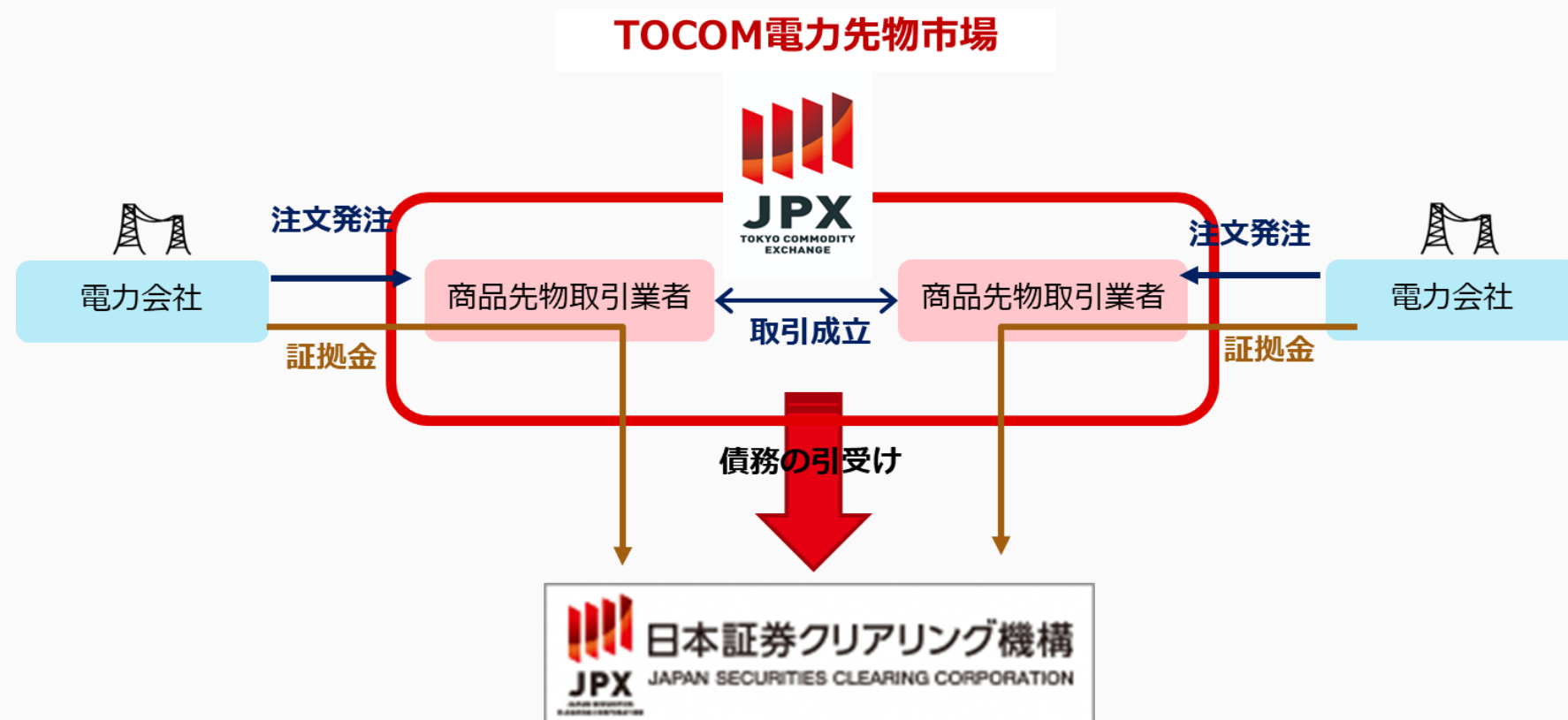


価格ヘッジ機能：JEPXスポット価格の変動リスクのヘッジ

- 発電事業者や小売電気事業は、価格変動の大きいJEPXスポット市場での販売・調達に先立ち、TOCOM電力先物市場で事前に価格を固定することで、収益・費用予測の確度が高まり経営安定化を実現。



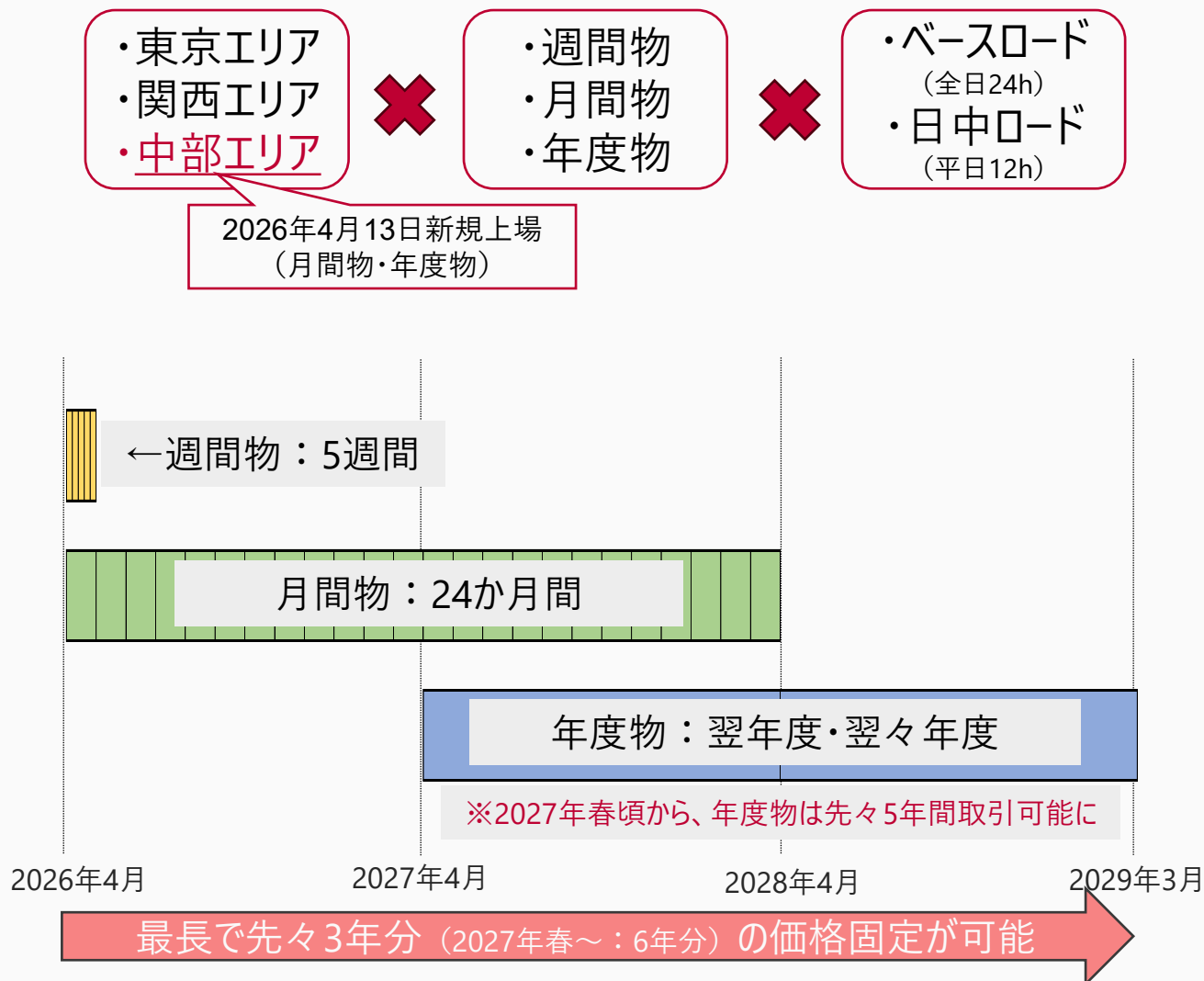
- 電力先物市場で成立した取引は、**クリアリングハウスが債権・債務の相手方**となって取引の履行を保証するため、**取引相手の信用リスクは遮断**。
- 電力先物取引の清算は、財務基盤が強固なクリアリングハウスであるJSCCが引受け。
- これにより、信用力が向上し、グローバルにみても安心して取引できる環境が実現。



TOCOM電力先物の上場商品概要（月間物・週間物・年度物）

■ 2026年7月時点で、TOCOM電力先物市場で取引いただける上場商品の概要は以下の通り。

原資産	JEPXスポット市場の 対象エリアの平均価格 (円/kWh)
取引単位	100kW (= 0.1MW) ×対象期間の時間数
価格の刻み	0.01円/kWh
取引時間	立会取引 8:45～15:45 16:30～19:00 立会外取引 8:20～16:15 16:25～19:30



(参考) 電力先物取引の制度 (月間物)

- 国内法（商品先物取引法）に基づく認可市場として、経済産業省の監督の下、公正かつ円滑な取引の確保や委託者保護のための仕組みが整備。
- 規模の大小を問わず、全ての電力会社が利用しやすい取引環境を提供。
 - ・ 取引単位、日中ロードのカレンダーなど、**基本的な商品設計はJEPXに準拠。**
 - ・ 取引所が提供する取引スクリーンを通じた「立会取引」と、OTC取引のクリアリングを行う「立会外取引」の両方を提供。
 - ・ 清算・決済はすべて円貨で行われ、**証拠金として現金以外にも有価証券や銀行保証などが利用可能。**

	ベースロード月間物	日中ロード月間物
対象	JEPXの対象エリアのスポット市場で取引されるベースロード（0:00～24:00）価格	JEPXの対象エリアのスポット市場で取引される日中ロード（8:00～20:00）価格
対象エリア	東エリア及び西エリア及び中部エリア（2026/4/13～）	
対象期間	各月における1日から月末日まで	
取引可能な期間	24か月間	
取引単位 ※限月により異なる	100kW × 24h × 暦日数 2027年1月限：74,400kWh/枚 = 100kW×24時間×31日 2027年2月限：67,200kWh/枚 = 100kW×24時間×28日	100kW × 12h × 平日数 ※平日は当社が指定 2027年1月限：22,800kWh/枚 = 100kW×12時間×19平日 2027年2月限：21,600kWh/枚 = 100kW×12時間×18平日
呼値の単位	0.01円/kWh	
取引最終日	当月限の末日の前営業日（日中立会まで）	当月限の最終平日の前営業日（日中立会まで）
最終決済日	当月限の翌月第一営業日	
最終決済価格	JEPXの対象エリアのスポット価格の月間平均値	JEPXの対象エリアのスポット価格の月間平均値（平日の8:00～20:00に限る）
取引時間	立会取引 8:45～15:45、16:30～19:00	立会外取引 8:20～16:15、16:25～19:30 ※祝日取引の対象

(参考) 電力先物取引の制度 (週間物)

- 電力週間物取引を**2024年3月18日 (月)** から開始。
- 週間物商品については電力会社等の意見をふまえ、既存の月物をベースに以下の商品設計。
 - ・ 取引 (受渡) 期間については日本電力の商慣習に合わせ、**土曜日～翌週金曜日の1週間**
 - ・ 日中ロード商品 (平日の日中のみ対象) に係る平日の定義は月物と同様 (**JEPXの平日**の定義に合わせる) 。

	ベースロード週間物	日中ロード週間物
対象	JEPXの対象エリアのスポット市場で取引されるベースロード (0:00～24:00) 価格	JEPXの対象エリアのスポット市場で取引される日中ロード (8:00～20:00) 価格
対象エリア	東エリア及び西エリア	
対象期間	土曜日から翌週金曜日まで	月曜日から金曜日まで ※平日は当社が指定
取引可能な期間	5週間	
取引単位	100kW × 24h × 対象期間の暦日数 ※ベースロード週間物は、対象期間の日数が 常に7 日間であるため、16,800 kWh	100kW × 12h × 対象期間の平日数 ※対象期間の平日数が 5 日間の日中ロード週間物は、6,000kWh
呼値の単位	0.01円/kWh	
取引最終日	当該対象期間の木曜日 ※営業日でない場合は前営業日	当該対象期間の最終平日の前営業日
最終決済日	取引最終日の翌営業日	
最終決済価格	JEPXの対象エリアのスポット価格の対象期間における平均値	JEPXの対象エリアのスポット価格の対象期間 (平日の8:00～20:00に限る) における平均値
取引時間	立会取引 8:45～15:45、16:30～19:00 立会外取引 8:20～16:15、16:25～19:30 ※祝日取引の対象	

(参考) 電力先物取引の制度 (年度物)

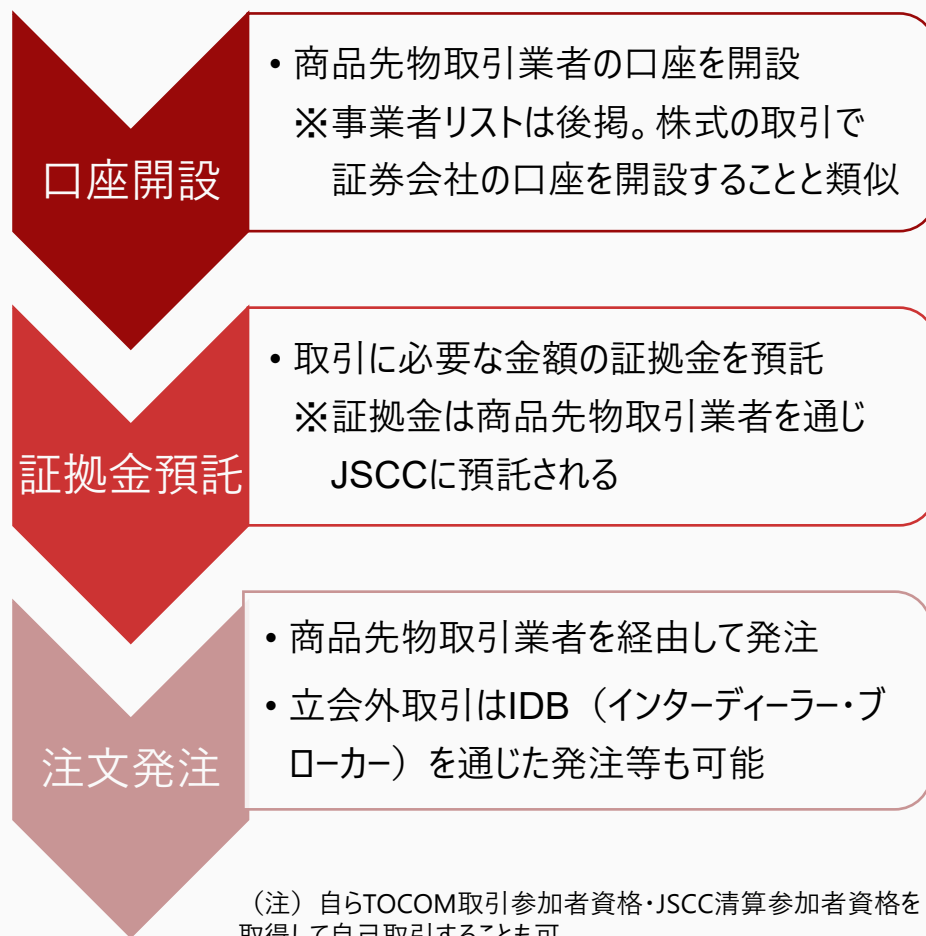
- 日本企業による電力の長期相対契約の多くが一般的に事業年度(4月～翌年3月)単位で行われていることを踏まえ、**年度物**の商品を**2025年5月26日より取引開始**。
- 2027年春頃からは、取引可能な期間を現行の2年間から「**5年間**」に拡充予定。

	ベースロード年度物	日中ロード年度物
対象	JEPXの対象エリアのスポット市場で取引される ベースロード（0:00～24:00）価格	JEPXの対象エリアのスポット市場で取引される 日中ロード（8:00～20:00）価格
対象エリア	東エリア及び西エリア及び中部エリア（2026/4/13～）	
対象期間	4月1日から翌年3月31日まで	
取引可能な期間	2年間（翌年度及び翌々年度を常に取り引）	
取引単位	100kW × 24h × 対象期間の暦日数 ※日数が365日である年度は、876,000 kWh	100kW × 12h × 対象期間の平日数 ※平日はTOCOMが指定（月間物・週間物と同日） 2027年度であれば292,800kWh
呼値の単位	0.01円/kWh	
カスケーディング日	3月末日から3営業日前	
取引最終日	カスケーディング前：3月末日から3営業日前 カスケーディング後：月間物の取引最終日	
最終決済日	カスケーディング後の月間物の最終決済日	
最終決済価格	カスケーディング後の月間物の最終決済価格	
取引時間	立会取引 8:45～15:45、16:30～19:00 立会外取引 8:20～16:15、16:25～19:30 ※祝日取引の対象	

TOCOMで電力先物取引を実施するまでの流れ

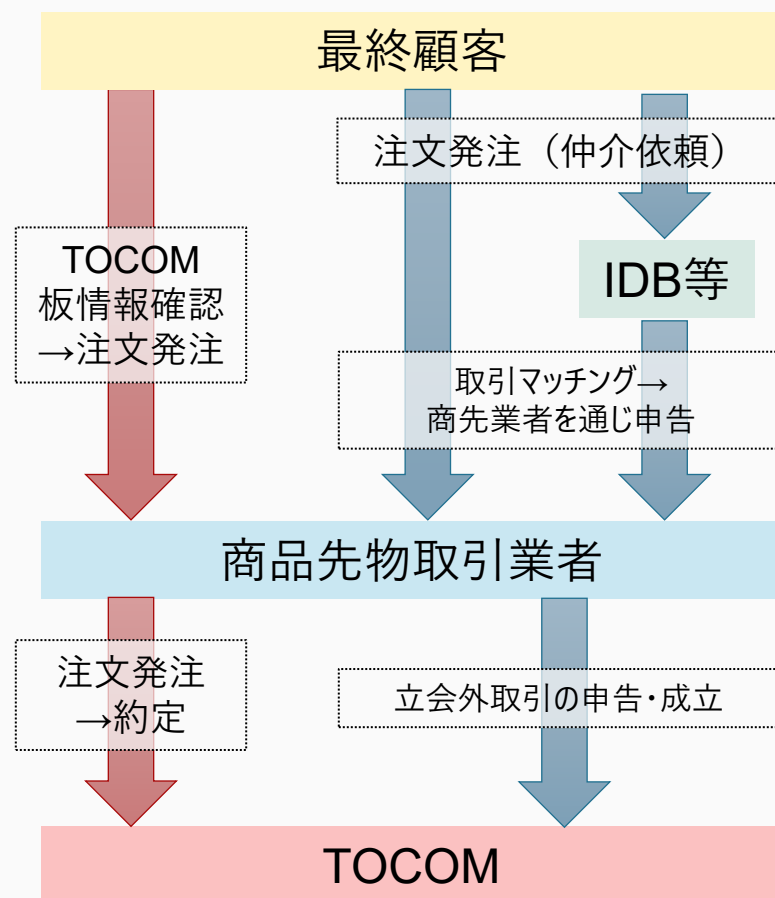
- TOCOMで電力先物取引を実施するにあたっては、まずは商品先物取引業者に口座を開設し、証拠金を預託した上で、商品先物取引業者またはIDB等を通じて発注するフローが一般的。

取引開始までの手順（商品先物取引業者経由）



注文発注のフロー（例）

立会内取引 (Red arrow)
立会外取引 (Blue arrow)



商品先物取引業者及び第2種類似施設業者（IDB）

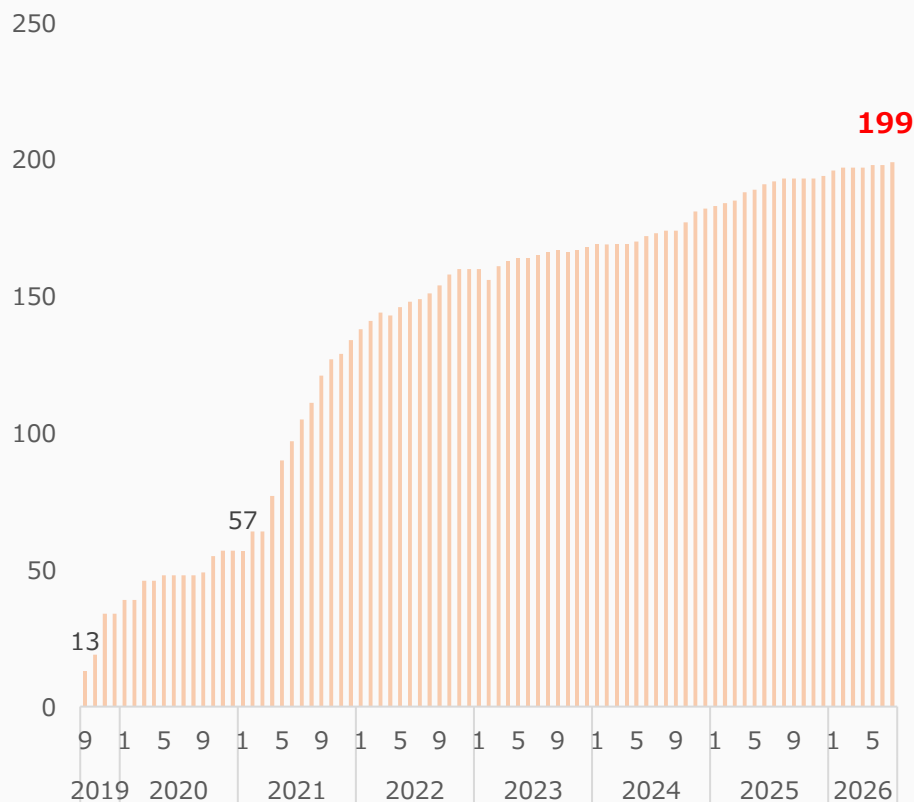
主要な商品先物取引業者	電力	LNG	Website
岡地株式会社	○	○	https://www.okachi.co.jp
日産証券株式会社	○	○	https://www.nissan-sec.co.jp/
フィリップ証券株式会社	○	○	https://www.phillip.co.jp/
株式会社北陸銀行（※2026年3月16日資格取得）	○	－	https://www.hokugin.co.jp/
株式会社三菱UFJ銀行	○	－	https://www.bk.mufg.jp/
豊トラスティ証券株式会社	○	○	https://www.yutaka-trusty.co.jp

第2種類似施設業者：IDB	電力	LNG	Website
Vanir Global Markets Pte. Ltd	○	○	https://www.vanirgm.com
BGCキャピタルマーケットツジャパンLLC	○	○	https://www.bgcpartners.com/contact/tokyo/
タレットプレボン・エナジー・ジャパン株式会社	○	○	https://www.tullettprebon.com
株式会社enechain	○	○	https://enechain.co.jp
株式会社アメレックス・エナジー・コム	○	○	http://www.amerex.co.jp
株式会社トラディション日本	○	－	https://nihon.traditionasia.com
株式会社eSquare	○	○	

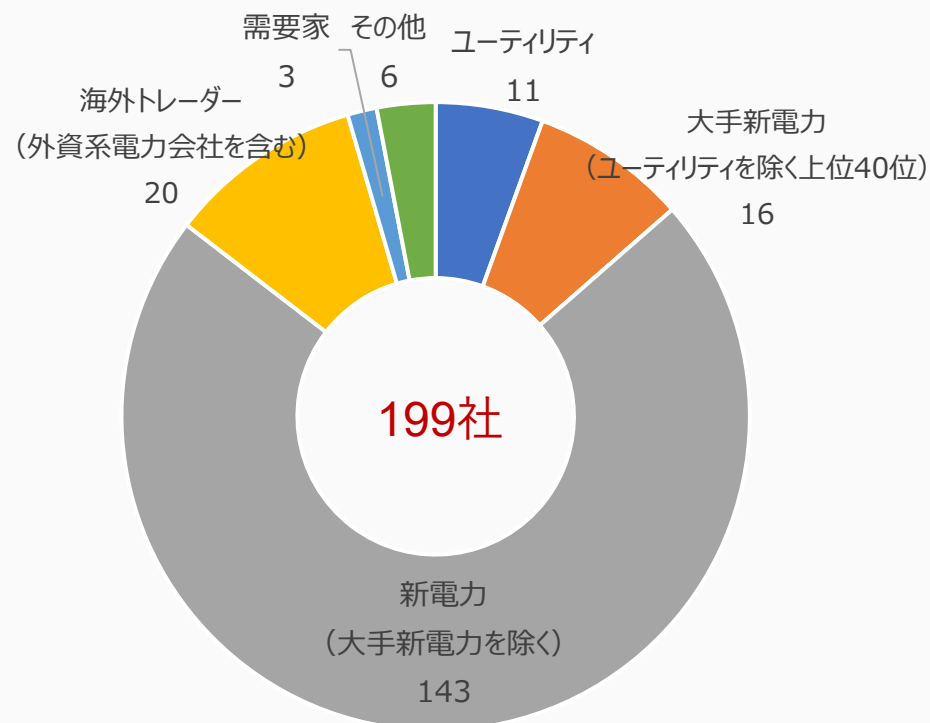
TOCOM電力先物市場の動向

- 2021年1月のJEPX価格高騰以降、電気事業者による電力先物取引を用いたヘッジ意欲が醸成。市場参加者数は国内電気事業者を中心に、海外電力トレーダー、金融機関等を含め、**2026年7月現在で199社が参加。**

TOCOM電力先物市場参加者数推移

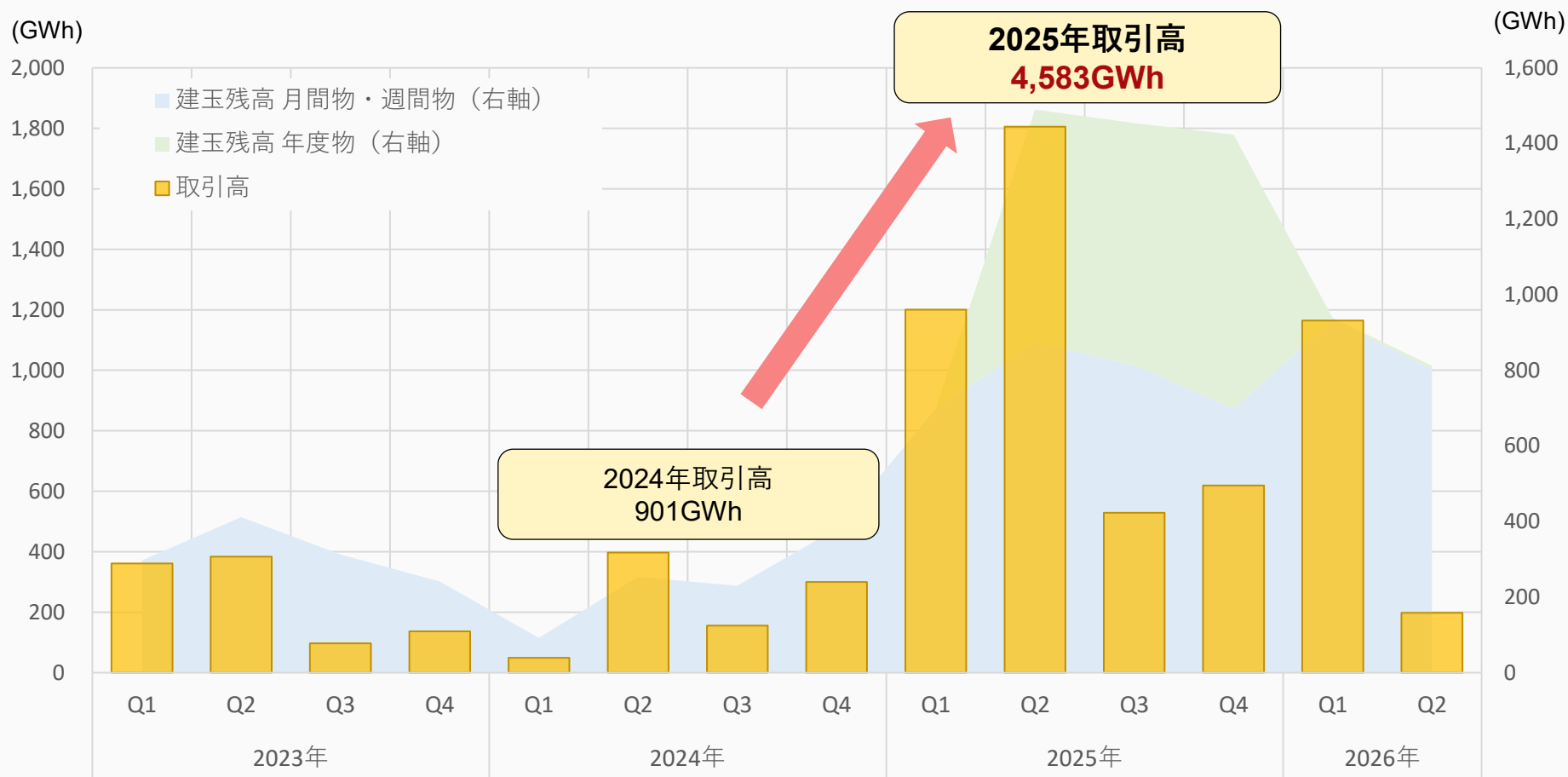


電力先物市場参加者属性



- 国内大手銀行がTOCOMの電力先物取引に係る受託を開始したことなどから市場が拡大し、**2025年の取引高は2024年比で5倍超に成長。**

TOCOM電力先物 取引高・建玉残高推移



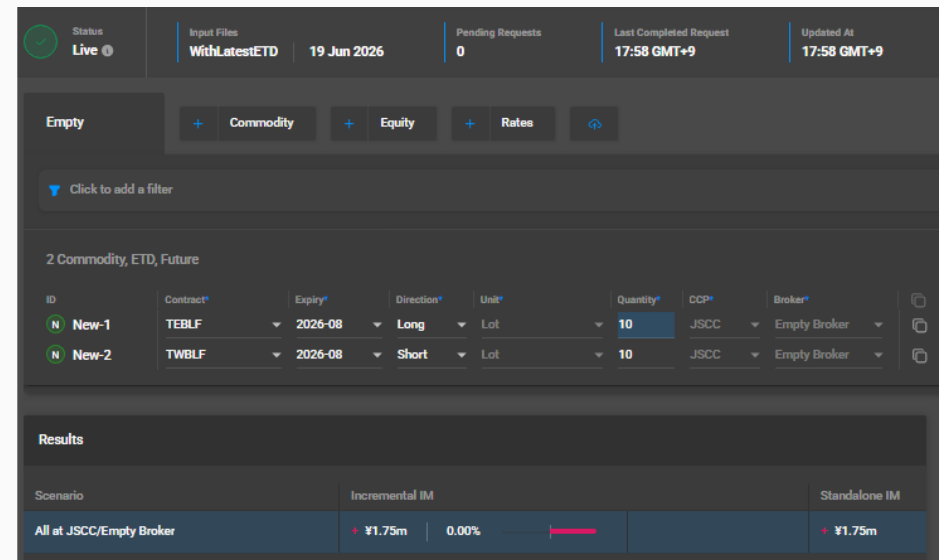
(参考) 当初証拠金の算定方式及び試算方法について

- TOCOMの電力先物の当初証拠金はVaR方式で、過去5年間（1250個）のヒストリカルデータ等から計算される想定損失を99%カバーできる水準で算定。
- JSCCでは、電力先物1枚当たりの必要当初証拠金額のファイルを日次で公開しているほか、ポートフォリオ全体の必要当初証拠金額を試算するためのツールを提供。

銘柄別VaR証拠金額ファイルのイメージ (1枚当たり証拠金)

Instrument Code	Product Group Code	Product Code	Product Type	Contract Month	Margin for 1 Short	Margin for 1 Long
1610600B3	TEBL	TEBLF	Future	202606	187417	153885
1610700B3	TEBL	TEBLF	Future	202607	284563	194807
1610800B3	TEBL	TEBLF	Future	202608	345419	179647
1610900B3	TEBL	TEBLF	Future	202609	319600	157156
1611000B3	TEBL	TEBLF	Future	202610	317482	146939
1611100B3	TEBL	TEBLF	Future	202611	294441	148171
1611200B3	TEBL	TEBLF	Future	202612	277208	164258
1620100B3	TEBL	TEBLF	Future	202701	244458	149012
1620200B3	TEBL	TEBLF	Future	202702	245323	135045
1620300B3	TEBL	TEBLF	Future	202703	273712	142639
1620400B3	TEBL	TEBLF	Future	202704	256758	124167
1620500B3	TEBL	TEBLF	Future	202705	251511	128869
1620600B3	TEBL	TEBLF	Future	202706	229740	124215
1620700B3	TEBL	TEBLF	Future	202707	192986	105168
1620800B3	TEBL	TEBLF	Future	202708	164862	100745
1620900B3	TEBL	TEBLF	Future	202709	129506	98199
1621000B3	TEBL	TEBLF	Future	202710	140051	81199
1621100B3	TEBL	TEBLF	Future	202711	135933	80406
1621200B3	TEBL	TEBLF	Future	202712	129024	75316
1630100B3	TEBL	TEBLF	Future	202801	127662	81648
1630200B3	TEBL	TEBLF	Future	202802	130597	77710
1630300B3	TEBL	TEBLF	Future	202803	147700	87652
1630400B3	TEBL	TEBLF	Future	202804	142818	85338
1630500B3	TEBL	TEBLF	Future	202805	143074	81978

Web試算画面のイメージ



<https://jscc-h.jpx.co.jp/jscc/listed-derivatives/im/index.html>



https://www.jpx.co.jp/jscc/seisan/sakimono/shokokin_seido/VaR.html

※「Web試算環境について」を参照

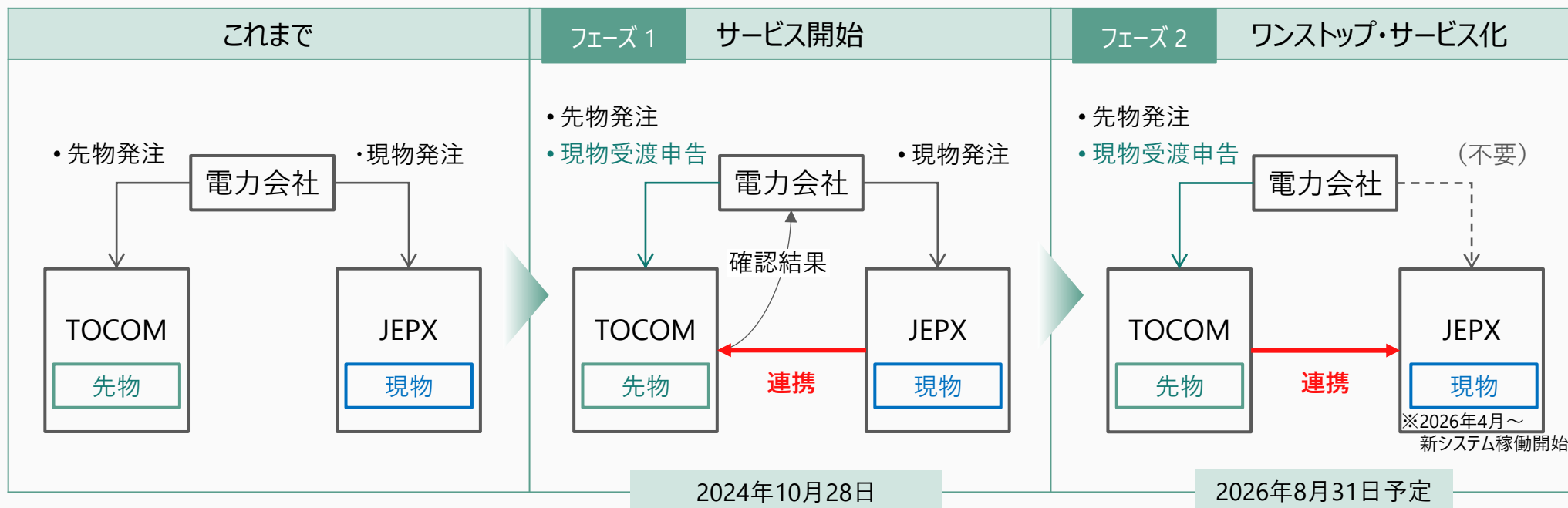


市場活性化に向けた取り組み（JJ-Link等）

- TOCOMと日本卸電力取引所（JEPX）は、国内法に基づく取引所間の協力により、**現物・先物の取引間の連携サービス「JJ-Link」を共同で提供**。本年8月を目途にフェーズ2に移行し、**ワンストップ・サービス**（TOCOMの先物ポジションに相当する現物をJEPXのスポット取引で調達するサービス）**を実現**。

※JEPX会員のうち、約100社がTOCOM市場に口座を開設済み。

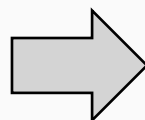
<サービスのイメージ>



- ✓ フェーズ1では、TOCOMがJEPXから現物の約定データの連携を受け、先物ポジションと照合し、合致することの確認結果を電力会社へ返すことで、先物と現物の結び付きを証明。
- ✓ フェーズ2では、TOCOMからJEPXへのデータ連携により現物発注が行われる仕組みを構築し、ワンストップ・サービスを実現。

- JJ-Linkフェーズ2の活用により、相手先の**信用リスク**を考慮せずに安定的な電力取引が可能。

(現物)相対取引



JJ-Link フェーズ2

➤ クリアリングなし

- 相手先が破綻の場合は、**不払いリスク**
- 相手先の信用により異なる価格で取引
(**内外無差別上の問題**を生じる恐れ)

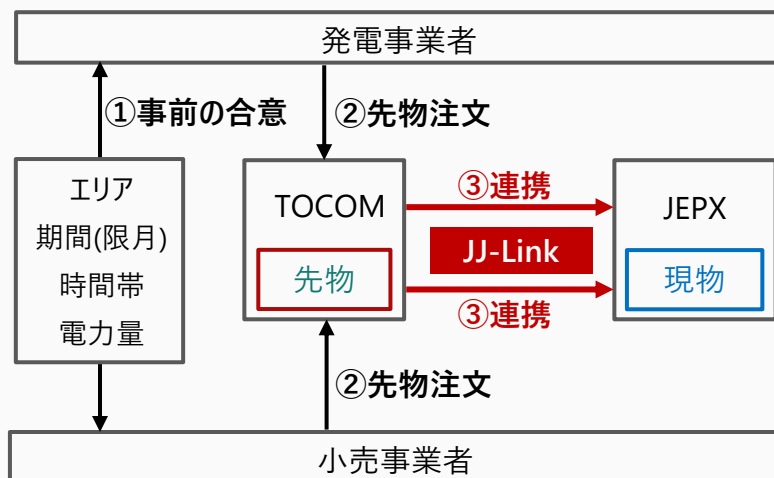
➤ クリアリング付き

- 相手先の破綻による**不払いリスクが生じない**
(清算機関が双方の相手方となる)
- 相手先の信用にかかわらない価格で取引が可能
(**内外無差別上の問題を生じない**)

(参考) JJ-Linkの活用による無差別的な電源供給について

- 現・先連携サービス「JJ-Link」を活用し、あくまで**市場を通じて電力会社の無差別的な電源供給**を実現。

具体的な方法



小売事業者への供給

- ① 発電事業者がスポット市場を通した売買に合意（市場価格での取引）
- ② 発電事業者はTOCOM市場で先物取引
- ③ JJ-Linkにより先物と現物の結びつきを証明

※JJ-Linkのスキームは2026年8月31日サービス開始予定のフェーズ2を想定

想定されるメリット

● 市場における自由な取引で価格決定

相対契約と異なる点

- ・ 先物市場で相手先が無差別に決まる
- ・ 売り方・買い方で先物市場を利用する時期が異なることも可能
- ・ 取引所の規律の下での取引
- ・ 内外無差別の観点からの事後検証が容易
(スケジュール、情報管理、アクセス性 等)

- クリアリングにより、カウンターパーティリスク（信用リスク）を遮断
(クリアリング付先渡取引として機能)
- 小売事業者の信用力を考慮せずに価格決定が可能
- 現先紐づけにより、ヘッジ会計が認められやすい（特に小売事業者）
- 柔軟な期間選択が可能
(6か月、9か月、15か月、夏・冬3か月等)
- TOCOM先物市場の活用により、透明な価格決定
- 取引コストが小さい

手数料割引キャンペーンの実施（2026年4月～2027年3月）

- 2026年4月1日から2027年3月31日まで（取引日ベース）に行われた電力先物取引について、手数料（取引手数料＋清算手数料の合計）を半額程度の水準とする。2026年4月13日に上場した中部エリア商品も割引対象に追加。

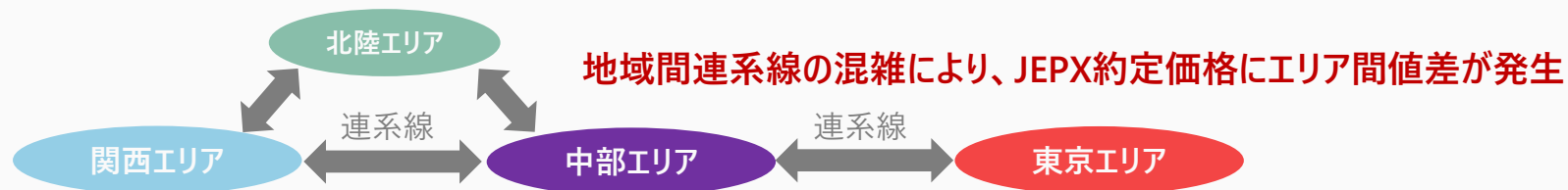
【電力先物取引における手数料割引キャンペーン（2026年度） 1枚あたり料率表】

取引対象	取引手数料		清算手数料	合計（取引手数料＋清算手数料）	
	①現行料率	②キャンペーン料率	③料率	現行料率	キャンペーン料率
東エリア・ベースロード電力、 西エリア・ベースロード電力	146円	37円	73円	219円 (0.003円/kWh)	110円 (0.0015円/kWh)
東エリア・日中ロード電力、 西エリア・日中ロード電力	49円	12円	24円	73円 (0.003円/kWh)	36円 (0.0015円/kWh)
東エリア・週間ベースロード電力、 西エリア・週間ベースロード電力	37円	9円	18円	55円 (0.0033円/kWh)	27円 (0.0016円/kWh)
東エリア・週間日中ロード電力、 西エリア・週間日中ロード電力	12円	3円	6円	18円 (0.003円/kWh)	9円 (0.0015円/kWh)
東エリア・年度ベースロード電力、 西エリア・年度ベースロード電力	1,752円	438円	876円	2,628円 (0.003円/kWh)	1,314円 (0.0015円/kWh)
東エリア・年度日中ロード電力、 西エリア・年度日中ロード電力	588円	147円	288円	876円 (0.003円/kWh)	435円 (0.0015円/kWh)
中部エリア・ベースロード電力	146円	73円	73円→37円 (※キャンペーン料率)	219円 (0.003円/kWh)	110円 (0.0015円/kWh)
中部エリア・日中ロード電力	49円	24円	24円→12円 (※同上)	73円 (0.003円/kWh)	36円 (0.0015円/kWh)
中部エリア・年度ベースロード電力	1,752円	876円	876円→438円 (※同上)	2,628円 (0.003円/kWh)	1,314円 (0.0015円/kWh)
中部エリア・年度日中ロード電力	588円	291円	288円→144円 (※同上)	876円 (0.003円/kWh)	435円 (0.0015円/kWh)

※合計欄に記載したkWh当たりの金額は、各商品の1枚当たりの手数料を、1枚当たりの平均的な取引単位（電力量）で割り返して試算したもの。

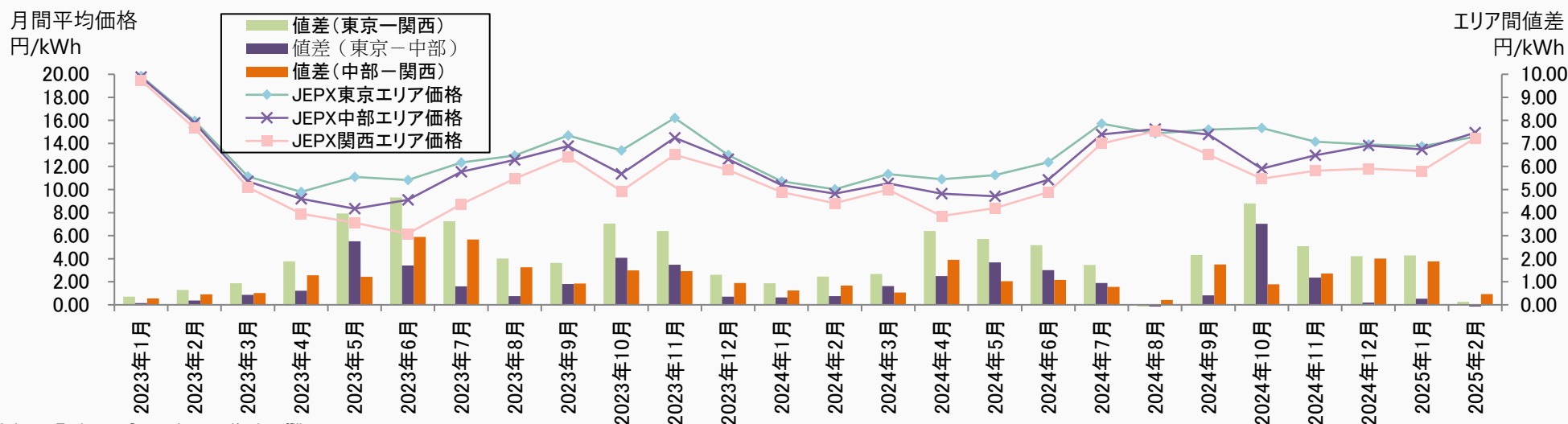
電力先物に係る中部エリア追加について（2026年4月～）

- JEPXにおける東京-中部、関西-中部のエリア間値差が顕著であることを背景に、電力会社から寄せられている当該値差のヘッジニーズに応えるため、**2026年4月13日より、中部エリアを電力先物の取引対象エリアに追加**するとともに、東京-中部間、関西-中部間の商品間スプレッド取引を導入。
- 市場参加者からの要望を鑑み、中部エリアを追加する対象は月間物取引、年度物取引とする。（週間物は対象外とする。）



各エリアにおけるJEPX月間平均価格とエリア間値差

→東京-中部、関西-中部間の値差が顕著



電力先物の取引時間の変更について（2026年4月～）

- 欧州エネルギー市場の取引が活発化する時間帯（16時台）における取引時間を確保し、取引を活性化させることを目的として、**2026年4月13日より取引時間を変更**。現状、電力先物については立会内取引が8:45～15:45／16:30～19:00、立会外取引が8:20～16:15／16:25～19:30。

<2026年4月10日まで>

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
立会内取引		8：45～15：45									17：00～19：00			
立会外取引		8：20～16：30										16：45～19：30		



<2026年4月13日～>

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
立会内取引		8：45～15：45									16：30～19：00			
立会外取引		8：20～16：15										16：25～19：30		

その他関連情報

■ 電力先物特設ページ / Electricity Futures Webpage

日本語



English



アニメーション動画

東京商品取引所の「電力先物」や「商品先物」を紹介するアニメーション動画です。まずはイメージを知りたい方はこちらをご覧ください。



日本エネルギー経済研究所（IEEJ）による月次エネルギーレポート（英語）

寺澤達也理事長をはじめとする研究員の皆様に、エネルギー分野の専門的な視点から執筆いただいたレポートを掲載しております。
※クリックするとJPX運営の英語ニュースサイトへ遷移します

理事長 寺澤達也様によるレポート

レポートタイトル（英語）

- ETS starts in Japan - [📄](#)
- Long-Term Decarbonized Power Source Auction (LDPA) [📄](#)
- Japan's 7th Strategic Energy Plan [📄](#)

研究員によるレポート（直近三カ月分）

執筆年月	レポート執筆者名	レポートタイトル（英語）
2026年6月	電力ユニット 電力グループマネージャー 研究主幹 大西 健一様	● The Importance of Risk Hedging through Electricity Futures and the Outlook for Retail Electricity Prices amid Escalating Tensions in the Middle East 📄

■ 電力先物価格情報 / Electricity Futures Quotes

日本語



English



> 石油・電力先物価格情報（TOCOM） /
> Commodity Futures Quotes (TOCOM)

東エリア・ベースロード電力先物

期月	取引日	日通し										帳入値段 (06/18)	SCB幅 上 下 限 (06/18)	取組高 (06/18)
		始値	高値	安値	現在値	前日比	取引高	売り気配 数量	売り気配 数量	買い気配 数量	買い気配 数量			
26年6月期	06/19	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	-	-	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	21.10 (06/18)	29.10 13.10	638 (06/18)
26年7月期	06/19	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	-	-	- (-) (-)	- (-) (-)	20.00 (06/19) (11:02)	52	21.27 (06/18)	29.27 13.27	641 (06/18)
26年8月期	06/19	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	-	-	- (-) (-)	- (-) (-)	20.00 (06/19) (07:17)	1	21.32 (06/18)	29.32 13.32	667 (06/18)
26年9月期	06/19	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	-	-	- (-) (-)	- (-) (-)	20.00 (06/19) (07:17)	2	20.51 (06/18)	28.51 12.51	619 (06/18)
26年10月期	06/19	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	-	-	- (-) (-)	- (-) (-)	- (-) (-)	-	18.12 (06/18)	26.12 10.12	512 (06/18)

- 東京商品取引所では、電力先物取引の普及啓発を目的に随時、電力先物スクールを開催しています。
- スクールでは商品先物取引の基礎から電力先物取引の活用までを説明します。

内容	商品先物取引の基礎から電力先物取引の活用まで（カスタマイズも可能です。）
カリキュラム	先物取引基礎編（所要時間：1時間30分から2時間程度） 1. 商品先物取引とは 2. 商品先物取引の特徴 3. TOCOMにおける取引の概要 4. 取引への参加方法 電力先物応用編（所要時間：1時間30分から2時間程度） 1. 電力先物の商品設計 2. 電力先物の取引ルール 3. 電力先物価格について 4. 電力先物取引の利用方法 5. 立会外取引を利用した電力先物取引 6. 電力先物取引に係る会計処理について 7. 電力先物取引における不公正取引
開催場所	お気軽にご相談ください。 【当社(東京都中央区日本橋兜町2-1：最寄駅は茅場町) 会議室、貴社会議室、WEB方式、対面とWEBでのハイブリッド方式】
開催日時	随時開催をしています。お気軽にご相談ください。
対象	事業会社様であれば、どなたでも受講可能です。



- ◆ 電力先物取引に係る取引要綱やスクールの詳細については当社ウェブサイトをご覧ください。
URL： <https://www.jpx.co.jp/derivatives/products/energy/electricity-futures/03.html>
- ◆ 電力スクールに関するご意見やご質問は、東京商品取引所 総合業務室 営業担当（deri-w@jpx.co.jp）までお寄せください。

株式会社東京商品取引所 総合業務室 営業担当

Tel : 050-3361-2750 徳南 (とくなん)

e-mail : deri-w@jpx.co.jp

Japan Exchange Group



免責事項：

本資料に関する著作権は、株式会社東京商品取引所（以下「TOCOM」）にあります。本資料の一部又は全部を無断で転用、複製することはできません。

本資料は、TOCOMの先物取引に関する制度の概要説明のみを目的として提供されるもので、先物取引の勧誘を目的としたものではありません。

先物取引においては、商品価格、為替相場の変動等によって損失が生じるおそれがあり、差し入れた証拠金の全部若しくは一部を失う、または、差し入れた証拠金を超える損失を被ることがあります。また、相場変動等により証拠金額に不足が生じた場合には、追加の差し入れが必要となります。取引に際しては、あらかじめ取引先の商品先物取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で取引を行っていただきますよう、お願い申し上げます。

また、本資料に含まれる記述などの使用に関し、TOCOMは一切責任を負いません。TOCOMは本資料に記載の事項に関し、将来予告なしに変更することがあります。